

(様式 1)

令和元年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県立山博物館 文化振興課

2 施設所在地
中新川郡立山町芦峯寺93-1

3 施設設置年度
平成3 年度

4 設置目的
立山の雄大な自然及びそれにはぐくまれた立山信仰の精神世界を紹介するとともに、展示館、遙望館、まんだら遊苑等のほか、文化財、遺構等の施設及び歴史的風致を総合的に活用し、県民の教育、学術及び文化の向上に寄与することを目的とする。

5 施設概要

①建物の構造 展示館…鉄筋コンクリート造3階建
遙望館…木造2階建
資料館…鉄筋鉄骨コンクリート造2階建
山岳集古未来館…鉄筋鉄骨コンクリート造2階建
まんだら遊苑…地界鉄筋コンクリート造地上1階地下1階
天界鉄筋コンクリート造地上1階地下2階

②敷地面積 130,578.5㎡

③建物面積 5,945.33㎡

④施設内容 展示館…延床面積1,784.84㎡(3階建)うち、展示面積1,082.28㎡
遙望館…延床面積663.95㎡(2階建)うち、展示面積204.14㎡
資料館…延床面積630㎡(2階建)
山岳集古未来館…延床面積313.90㎡(2階建)
まんだら遊苑…地界・陽の道・天界・闇の道
敷地面積20,000㎡延床面積1,401.92㎡
歴史的建造物…教算坊・嶋家・有馬家・善道坊・合掌休憩舎
延床面積982.36㎡
かもしか園…敷地面積11,000㎡

6 指定管理者
公益財団法人富山県文化振興財団

7 指定期間
5 年
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

H27	H28	H29	H30	R1
71,838	77,245	75,630	63,661	77,390

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

H27	H28	H29	H30	R1
8,924	9,187	8,706	6,982	9,263

(3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

H27	H28	H29	H30	R1
-	-	-	-	-

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

8月の「ミュージアムdeナイトin芦峯寺」の地獄カフェに多くの来館者があったこと(平成30年度比200%の増)、平成30年度雨天中止だった「まんだらナイトウォーク」が令和元年度は2日間開催で2,804名の入苑者があったことなどにより、全体の年間入場者は平成30年度比132.1%と大幅に増加した。
また、観覧料及び使用料収入は、まんだら遊苑の年間入館者が大幅に増加(平成30年度比141.9%)したことなどにより、平成30年度比132.7%増の年間9,263千円となった。

(2) サービス向上に向けた取組み

- 平成3年の開館以来エントランスに立山黒部アルペンルートや県内各地の観光パンフレットを配置するなど観光客向けの案内サービスを実施している。
- 平成21年度から高齢者や体の不自由な方への介助技術を学んだサービスケアアテンダント資格者を配置し、接客サービスの向上に努めている。

(3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

- まんだらナイトウォーク、坊家御膳、年2回の呈茶会などの事業を開催し利用促進に努めた。
- 県主催事業「ミュージアムdeナイトin芦峯寺」に協力し、教算坊庭園のライトアップを行い集客を図った。
- 平成24年度からマイカー利用の観光客を誘引するのぼり旗を道路側に設置している。
- 平成27年度から立山黒部貫光による立山駅と当館との間の無料のシャトルバスの運行に協力している。(計4日間)
- 平成30年度にまんだら遊苑が写真撮影可能である旨を知らせる案内看板を設置し、施設のPRに努めている。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	実施期間：通年 実施方法：エントランスホールにアンケートボックスを設置
回答者数	355人
結果	90%以上満足
結果を踏まえた改善事項	まんだら遊苑天界の7窟のうち6窟が写真撮影可能となったので、案内看板等を整備した。

② その他利用者の声を反映させる取組み

利用者から寄せられた意見・要望を利用者サービスに反映させるため、職員全員で情報を共有した。

③ 主な苦情と対応

最寄駅からのアクセスが悪い。→[対応]コミュニティーバスの案内を積極的に行った。

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報保護規程を定めて職員に周知を図り、適正に個人情報を取り扱っている。

(6) 関係団体との連携

地元宿泊施設、立山町商工観光課、立山黒部貫光などと協力し、利用促進事業のPRを積極的に行った。

(7) 施設・設備の維持管理

専門保守業者による保守点検とは別に職員による自主点検を毎月行うなど、適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・熊やイノシシ被害防止対策(監視体制の強化、専用檻の設置、動物除け線香を焚く、野外施設の草刈等)を実施した。
- ・スズメ蜂やマムシ等の被害防止対策を実施した。
- ・車上荒らし等未然防止策として、定期的な駐車場パトロールを行った。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	2
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

無し

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

- ・インスタグラム映えする場所として評価が高く、原則写真撮影を可能としたまんだら遊苑を中心に積極的にPRし、より一層新たな来館者の獲得に取り込む必要がある。
- ・学校団体等の遠足のコースとなっている近隣施設との連携や、従来から実施している旅行会社との連携を強化し団体観覧者を取り込み、来館者数の増に繋げる取り組みが必要である。